



東北のかなめ

vol.52 (2021.3)

～ あの日から10年“おもい”を紡ぐ～



東松島市 震災復興伝承館

東松島市震災復興伝承館

令和2年10月31日 リニューアルオープン
(旧JR野蒜駅)

現在のJR野蒜駅

震災遺構

【CONTENTS】

- ✓ 福島県沖を震源とする地震への対応
- ✓ 応急危険度判定訓練 (調達部)
- ✓ 東日本大震災10年行事
- ✓ トピック
 - ・災害時における緊急避難場所等に関する協定の締結
 - ・東松島消防庁舎開庁式典～庁舎は「ブルーインパルス」カラー～
 - ・三沢市ごみ処理施設安全祈願祭
 - ・東北防衛施設地方審議会開催
- ✓ 訃報
- ✓ ようこそわが街へ (第22回) ～青森県五所川原市～
- ✓ 防衛関連企業シリーズ⑤:東和株式会社
- ✓ インフォメーション

福島県沖を震源とする地震への対応

令和3年2月13日深夜、宮城・福島両県で最大震度6強を観測した地震が発生しました。

東北防衛局は、直ちに職員等の安否確認を行うとともに非常勤務態勢に移行し、職員は、登庁しました。

登庁した職員は、自衛隊や各県の対応状況、自衛隊・米軍施設の被害状況等の確認を行い、また、陸上自衛隊東北方面総監部に連絡員を派遣するなど、情報の収集に当たりました。

また、調達部においては、施設整備調査チームを派遣し、建設中の施設被害状況について情報収集を行い、運用への影響が懸念された航空自衛隊松島基地、陸上自衛隊多賀城駐屯地及び霞目駐屯地に派遣し、施設の被害状況調査及び施設使用への影響について確認しました。



対策本部会議の様子



被害状況の確認の様子



応急危険度判定訓練（調達部）

東北防衛局調達部は、令和3年2月2日、地震等により自衛隊施設が被災した場合の支援に備え、「建物等の応急危険度判定訓練」を実施しました。

訓練は、職員への地震発生通知メールを皮切りに、自衛隊からの技術支援要請、調査員の派遣上申、調査員への状況付与、装備品の準備、被災場所への移動、実在建物等を用いた被災状況調査、結果報告に至るまでの一連行動を実践しました。

現地において実施した被災状況調査は、建物損傷状況を映像装置で中継することで、東北防衛局内に設置した対策本部においても被災状況を逐一把握するとともに、適宜必要な指示を行うなど遠隔臨場の訓練についても同時に実施しました。

今回の訓練は、「迅速な行動」、「被災地情報の的確な把握」、「適切な調査及び判定」などを目的としたもので、そのいずれも満足する成果が得られたことから、職員の災害対処に対する平素からの高い意識・練度について確認することが出来ました。

東北防衛局は、日頃から危機管理意識の向上を図るとともに、技術力保持・向上に努め、「いざ」という時、迅速な対応を行うことができる体制確保を引き続き行ってまいります。



受電室内調査



上水施設調査



建物危険度調査



局内での中継状況

令和3年3月10日、東日本大震災から10年が経過するにあたり、東北防衛局の当時の活動、課題や教訓を風化させることなく将来に継承することを目的として、東日本大震災対応体験者の講話を実施しました。

震災対応体験者から、緊急対策本部の立ち上げ、宮城県からの要請を受け実施したご遺族への対応業務、被災した自衛隊施設への技術支援等について、当時の体験談等の話がありました。

また、震災関連備品の展示も行われ、多くの職員が見学しました。

東北防衛局は、震災当時対応した先輩職員の方々の功績を誇りとするとともに、危機管理官庁である防衛省の一員であることを深く認識し、高い防災意識の下、一層の努力と自己研鑽を重ねていきたいと思いをします。



講演の様子



震災関連備品展示の様子

震災当時の様子



米軍によるトモダチ作戦
野蒜駅「ソウルトレイン」



応急復旧工事の様子

災害時における緊急避難場所等に関する協定の締結

令和2年11月30日、八戸市は、同市の陸上自衛隊八戸駐屯地と海上自衛隊第2航空群との間で、大規模災害時に自衛隊施設を住民の緊急避難場所とする協定を締結しました。

本協定は、自治体が住民に対し避難指示を発する前の警報発令の段階から自衛隊施設を一時的な緊急避難場所として確保することにより、人的被害の軽減及び近隣住民や臨海部の事業者の安全確保につなげることを目的としています。

調印式には熊谷昌司東北防衛局長も同席し、「大津波警報が発令された段階で活動可能となる協定は、画期的かつ実務的な内容である。」と評価しました。

左：松坂仁志八戸駐屯地司令（当時）
中央：小林眞八戸市長
右：降旗琢丸第2航空群司令



トピック

東松島消防庁舎開庁式典～ 庁舎は「ブルーインパルス」カラー～

令和2年11月22日、宮城県東松島市において、新たな防災拠点として建設を進めてきた東松島消防署開庁式典が行われました。

本事業は、松島飛行場と周辺地域の民生安定を図るため、「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づく民生安定施設整備事業として、令和元年9月から建設工事が始まり、総事業費約8億6千万円のうち、民生安定施設整備事業補助金約4億4千万円が充てられ、高層化、複雑化する現場を想定した訓練が可能なように鉄筋コンクリート造5階建の庁舎棟（1・2階庁舎、3～5階訓練棟）のほか、鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建の訓練施設が建設されました。

本施設は、迅速な災害対応を行える場として東日本大震災後に整備した東矢本駅北地区津波復興拠点地内に位置し、また、中心市街地にも隣接していることから防災拠点としての役割を十分に発揮できるものとなっています。



左:完成した消防庁舎

下:テープカットの様子



三沢市ごみ処理施設安全祈願祭

令和2年12月15日、青森県三沢市三沢字戸崎に整備されるごみ処理施設の建設工事着工に先立ち、安全祈願祭が行われました。

本事業は、三沢飛行場と周辺地域の民生安定を図るため、「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づく民生安定施設整備事業として平成28年度から8ヶ年の計画により三沢市が整備する計画です。

今般建設されるごみ処理施設は、老朽化に伴い機能低下が見られる現在の施設に代わり新たに整備するものであり、自然災害発生時には、一時避難場所としても活用される予定です。

また、現状の機器と比較し、動力に省エネルギー型を導入するほか、小学生等が学べる見学コースとして、ごみ処理量の多さを体感できるトリックアート体験設備など充実した学習機能を備え、ごみ問題の重要性を身近な問題として捉えられるような施設となっています。

本工事は、総事業費約85億円のうち、民生安定施設整備事業補助金約43億円が充てられ、令和5年度の稼働開始を目指しています。



左:完成予想図

挨拶する小檜山吉紀三沢市長



東北防衛施設地方審議会開催

東北防衛局は、令和3年1月19日、令和2年度「東北防衛施設地方審議会」を開催しました。同審議会は、自衛隊や駐留軍が使用する施設に関し、不動産権利の対価額や漁船の操業制限などによる損失の補償額などについて東北防衛局長の諮問に応じて調査・審議し、必要事項を建議する機関として同局に置かれ9人の委員で構成されています。

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、同局の庁舎内で開催。今年度は、任期満了（2年）に伴う新たな委員の任命と、審議会会長を選出する年に当たることから、冒頭、出席した委員の互選により、一力敦彦氏（東北放送代表取締役社長）が会長に再選されました。

続いて、熊谷昌司東北防衛局長が、参加した委員に防衛行政や防衛施設に関する理解を一層深めてもらおうと、当局の業務を紹介した後、令和2年版「防衛白書」の内容について説明し、佐藤孝洋防衛補佐官（当時）から、自衛隊の災害派遣について講話を行いました。



インフォメーション

周辺財産の個人・企業等に対する有償使用許可のご案内

三沢・八戸・松島の各飛行場周辺、三沢対地射爆撃場周辺及び王城寺原演習場周辺に「周辺財産」（移転補償跡地）と呼ばれる国有地があります。

当局では、土地の有効活用を図る観点から、周辺財産（移転補償跡地）の行政目的を妨げない範囲で、**個人、企業等**に対しても、**一定の条件の下、有償での使用許可を行うこと**としています。

○お問い合わせ先

東北防衛局 企画部 施設管理課緑化対策係
電話:022-297-8213

○こちらから関連ページへアクセスできます→



ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設**その**周辺地域**（周囲約300m）の上空における**ドローン**等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

対象防衛関係施設および飛行をさせたい場合の手続きの詳細については、防衛省HPをご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



○お問い合わせ先:東北防衛局 地方調整課 022-297-8212
三沢防衛事務所 0176-53-3118
E-mail: drone-th@tohoku.rdb.mod.go.jp (共通)

^{たかひろ}
菅原隆拓 前防衛省人事教育局長を偲んで

石巻出身

訃報

令和2年11月20日に菅原隆拓防衛省人事教育局長（当時）が急逝されました。

菅原前人事教育局長は、旧河南町（現石巻市）出身で、石巻高校から東北大学法学部を経て昭和63年に防衛庁（当時）に入庁され、東北地方での勤務経験はないものの、長官秘書官、中国四国防衛局長、内閣官房内閣審議官などを歴任され、昨年8月に人事教育局長に着任された矢先の訃報でした。

東日本大震災では、東京電力福島第1原発事故の発生直後から内閣府原子力被災者生活支援チームに参画され、警戒区域の設定などに尽力されました。

これから東北地方発展のためにご活躍いただけるものと期待されているところでした。菅原隆拓前人事教育局長の安らかなるご冥福をお祈りいたします。





令和元年新作立佞武多 かぐや

活力ある・明るく住みよい豊かなまち みんな大好きごしょがわら

五所川原市は青森県西部、津軽平野の中央部に位置しています。平成17年に旧五所川原市、金木町、市浦村の3つの市町村が合併して現在の五所川原市になりました。旧市町村それぞれに魅力ある文化、名産品を持っていますので、各地区より代表的なものをご紹介します。



旧五所川原市エリア:立佞武多の館 (たちねぶたのやかた)

旧五所川原市の中心部には、観光施設として立佞武多の館があります。

展示室では、高さおよそ23メートルの大型立佞武多を上から下までじっくりと鑑賞したり、立佞武多の制作体験(要問い合わせ)をしたりすることができます。

祭りの期間中(毎年8月4日～8日)には、館の正面右側のガラス張りの壁が開き、立佞武多や大太鼓などが街へと繰り出していきます。

立佞武多の館

住所:五所川原市大町506-10
電話:0173-38-3232(代表)

制作体験の内容の一つ、
立佞武多の紙張りの様子→



旧金木町エリア:太宰治記念館「斜陽館」、津軽三味線会館

金木町が生んだ小説家、太宰治。斜陽館は太宰の父が建てた豪邸で、現在は太宰の記念館となっています。館内には太宰治にかかわる資料や、太宰作品にも出てくる蔵があり、また太宰作品の映像も観ることができます。

さらに、金木町は津軽三味線発祥の地で多くの三味線奏者を輩出したことでも有名です。斜陽館の近くにある津軽三味線会館では津軽三味線の歴史、郷土芸能についての展示と、五所川原市内や周辺で活動している津軽三味線奏者による生演奏も聴くことができます。ゴールデンウィーク中には、津軽三味線の大会も行われ、日本全国から出場者がこの金木町に集まり、日ごろ鍛えた腕前を存分に披露してくれます。

太宰治記念館「斜陽館」(右写真上)

住所:五所川原市金木町朝日山412-1
電話:0173-53-2020

津軽三味線会館(右写真下)

住所:五所川原市金木町朝日山189-3
電話:0173-54-1616



旧市浦村エリア:ヤマトシジミ、「道の駅」十三湖高原(トーサムグリーンパーク)

市浦地区にある十三湖(じゅうさんこ)は海水と淡水が混ざり合う汽水湖で、良質なヤマトシジミがとれます。シジミ採り体験もでき採れたシジミは持ち帰ることもできます。(期間限定、1人一袋のみ。)

「道の駅」十三湖高原では活シジミを買うこともできたり、併設のレストランでシジミを使ったラーメンなども提供しています。また、テレビ番組などでも取り上げられたこともある大きな滑り台もあって、大人も子どもも楽しめる場所です。

十三湖中の島ブリッジパーク(シジミ採り体験)

住所:五所川原市十三土佐1-298
電話:0173-62-2775

「道の駅」十三湖高原(トーサムグリーンパーク)

住所:五所川原市相内実取287-1058
電話:0173-62-3556



市公式HP



市公式観光サイト



東和株式会社は、福島県本宮市に所在し、昭和23年に創立されました。同社では、各自衛隊の制服や雨衣等の縫製を行っており、「品質維持」をスローガンに、生産に取り組んでいます。

同社は、令和元年10月の台風19号による記録的な大雨により大きな損害を受けました。今回は、被害の状況やそこからの復活等について、佐藤恵一社長にお話を伺いました。

Q1: 当時の被害状況について教えてください。

A1: 1階の天井付近まで浸水し、1階にあった完成品、裁断物、材料、ミシンやCAD等の機械、ボイラー等の設備などが使用できなくなりました。

単に水に濡れた状態ではなく、油も含め様々な物が混ざった泥をかぶっており、複雑な機械はすべてを買換えなければならないと思いました。

Q2: 業務再開までの様子やその時のお気持ち等を教えてください。

A2: 10月15日より営業再開しましたが、停電しており生産は出来ませんでした。10月31日には、電気とボイラーが仮復旧し、水害にあっていない2階の生産ラインを11月1日から再開し、12月下旬には100%再開を果たしました。ただ、建物に関しては、まだ復旧途上の部分も残っています。

「社員みんなへ不安を与えてはいけない」との思いで、「カレンダー通りの出勤」とし、「早期の復旧に向かって全力で、頑張る!」と一心不乱に駆け抜けた感じです。

社員の頑張り、関係業者さんの協力で、無事に再開できたのは奇跡だと思います。

Q3: 製品づくりにおける心構え等を教えてください。

A3: 「大切な服を作らせていただいていること、その技術を絶やさないこと」です。縫製には多くの生産工程があり、1つたりとも手を抜くことはできませんが、それが出来るのは、「専用の設備と作業に熟練した熟練工」がいるからこそです。

服作りを通じ、熟練工を育て、地域そして国へ貢献することが一番のやりがいと生きがいであり、その思いを胸に、これからも縫製業に勤しんで参ります。

水害は、大きな損害となりましたが、何か「新たな希望」も与えていただいたと思っています。



お話を聞かせてくださった
佐藤恵一社長
(後ろは、制服・雨衣の完成品)

【被災直後の様子】



1階天井近くまで浸水



社内の被害状況

【現在の様子】



縫製現場



仕上げ風景

～地元への心ばかりの恩返し～

水害で物心ともにお世話になった地域の皆様への感謝の印として、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクを生産し、地元の本宮市等へ10,000枚寄贈しました・・・とのこと。

東北防衛局

職員採用案内

2022年4月新規採用

防衛事務官(行政・事務職)・技官(技術系)求む!

東北防衛局では、2021年度国家公務員採用一般職試験の最終合格者から職員(事務官・技官)の採用を行います。日本の未来を守るため、積極的に学び、挑戦していくことのできる人材を求めています。私たちと共に熱い情熱を持ち、柔軟な発想と果敢な行動力で未来に向けて挑戦していきましょう。

業務説明会や官庁訪問を実施しますので、興味・関心のある方は、是非ご参加ください

事務官(行政・事務職)

【試験区分:行政、事務】

【主な業務内容】

防衛政策への理解と協力を得るための施策(広報、防衛セミナー、日米交流事業等)や防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策(民生安定施設の整備、障害防止工事、住宅防音事業等)等

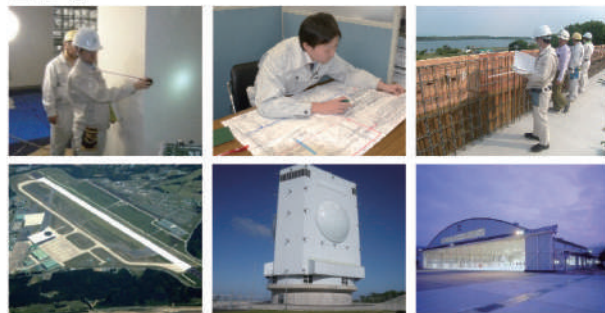


技官(技術職)

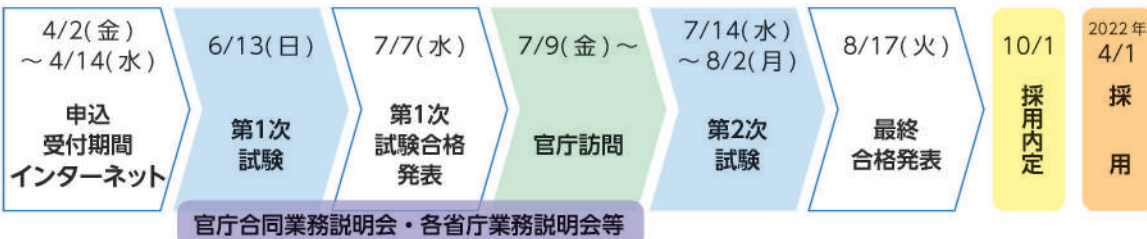
【試験区分:電気・電子・情報、機械、土木、建築、技術】

【主な業務内容】

自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設(飛行場、港湾施設、レーダー施設、体育館、隊舎など)の建築・土木・機械・電気通信設備工事の設計・監督等



採用までの流れ 2021年度一般職試験(大卒程度試験)



東北防衛局
採用情報は
こちらから



【お問い合わせ先】防衛省 東北防衛局 総務部総務課人事係 TEL:022-297-8209 内線3126

編集後記

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から10年が経ちました。

表紙の写真の東松島市震災復興伝承館は、旧JR仙石線野蒜駅舎を利用しています。この伝承館は、震災からの復興の記録が展示され、支援への感謝の気持ち、震災の記憶と教訓を後世に伝え、防災・減災の取り組みを学ぶ場となっています。また、当時、トモダチ作戦(ソウルトレイン)が行われたプラットホームも震災遺構として見学することができます。

2月13日深夜、震度6強の地震が発生しました。

改めて、10年前の教訓について考え、私たち自身でも出来ること、例えば水や食料の備蓄などに取り組みたいと思いました。

